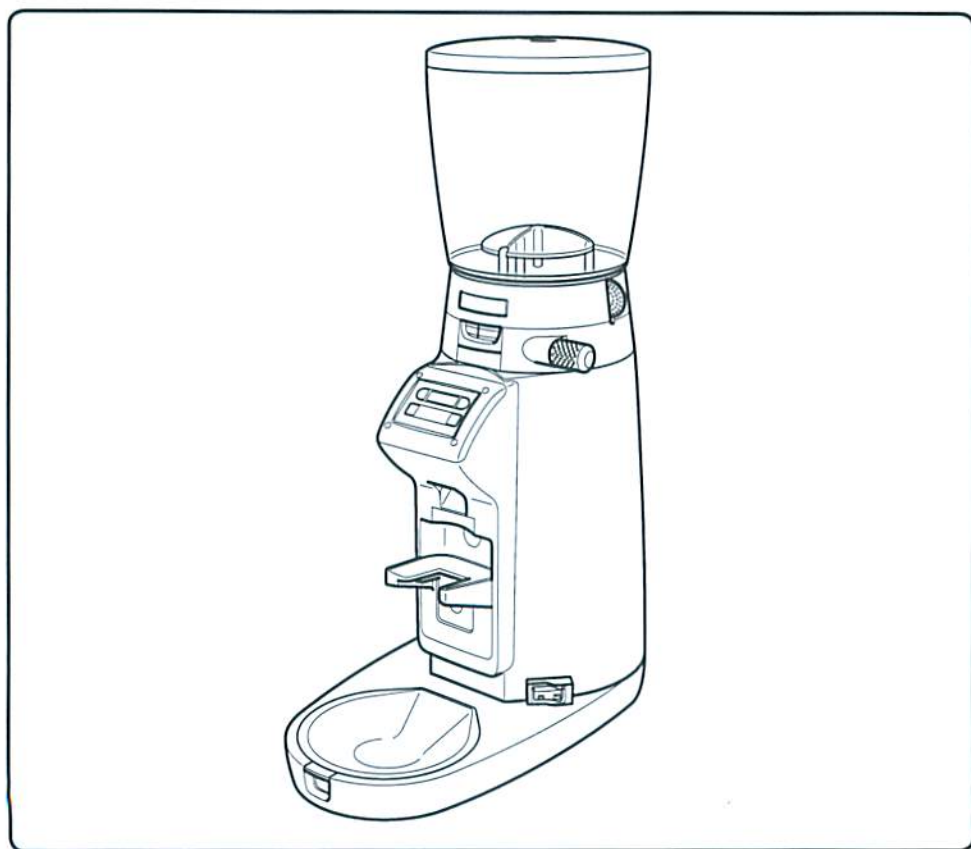
マグナム オンデマンドミル【ラ・チンバリー】

LA CIMBALI

取扱説明書

型式：MOD-1N（業務用）

- このたびは、当社のマグナム オンデマンドミル（MOD-1N）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必ずいつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

お客様用

目　次

本機をお使いになる前に

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

【図記号の例】

感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠警告

●据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

専門業者

●アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
(電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)

アース工事

●本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

専用電源

●電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になることがあります。

電気工事

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。

屋外禁止

●湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。

湿気禁止

●本体に直接水をかけないこと

ショート、感電、漏電、錆、故障の原因になります。

水掛け禁止

●電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

禁止

⚠警告

●電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。

点検掃除

●漏電遮断器または、サーキットブレーカが『OFF（切）』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON（入）』にすると、感電や火災の原因になります。

連絡

●機械内部の電気装置や配線に触らないこと

感電する恐れがあります。

接触禁止

●濡れた手で電源プラグ（電源プラグ使用の場合）など電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

濡手禁止

●異常時は電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くか（電源プラグを使用の場合）、本機の専用電源を『OFF（切）』にしてすぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。

専用電源切

●お使いのガス器具がある場合、ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

引火爆発し危険です。

ガス栓閉

●ミルカッターの回転中は、ホッパーの中からカッター内部に指、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガおよび故障の原因になります。

挿入禁止

●ホッパーの中に手を入れるときは、電源スイッチを切って機械を止め、本機専用電源を『OFF（切）』にすること

誤って電源スイッチに触れた場合、ケガをする恐れがあります。

専用電源切

⚠ 警告

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。

分解禁止

●改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、感電・火災の原因になります。

改造禁止

●移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付け不備があると感電、火災の原因になります。

専門業者

●廃却は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと幼児などがケガをする原因になります。

専門業者

⚠注意

●丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

●本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

●電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

●熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。

●可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

発火の原因になることがあります。

●常時は、ホッパー蓋は閉めておくこと

開けたままにしますと、不純物（虫、ホコリなど）が混入することがあります。

●ホッパー内には、コーヒー豆以外の異物や金属物が混入しないようにご注意ください。

機械の故障、カッターの破損の原因になります。

●清掃するときや点検のときは、必ず電源スイッチを切って機械を止め、本機専用電源も『OFF（切）』にすること

感電したり、ケガの原因になることがあります。

専用電源切

⚠ 注意

●洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分拭き取ること

洗剤分が残っていると、健康障害の原因になることがあります。

●休日前には、安全のため本機の電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にし、電源プラグを使用の場合は電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

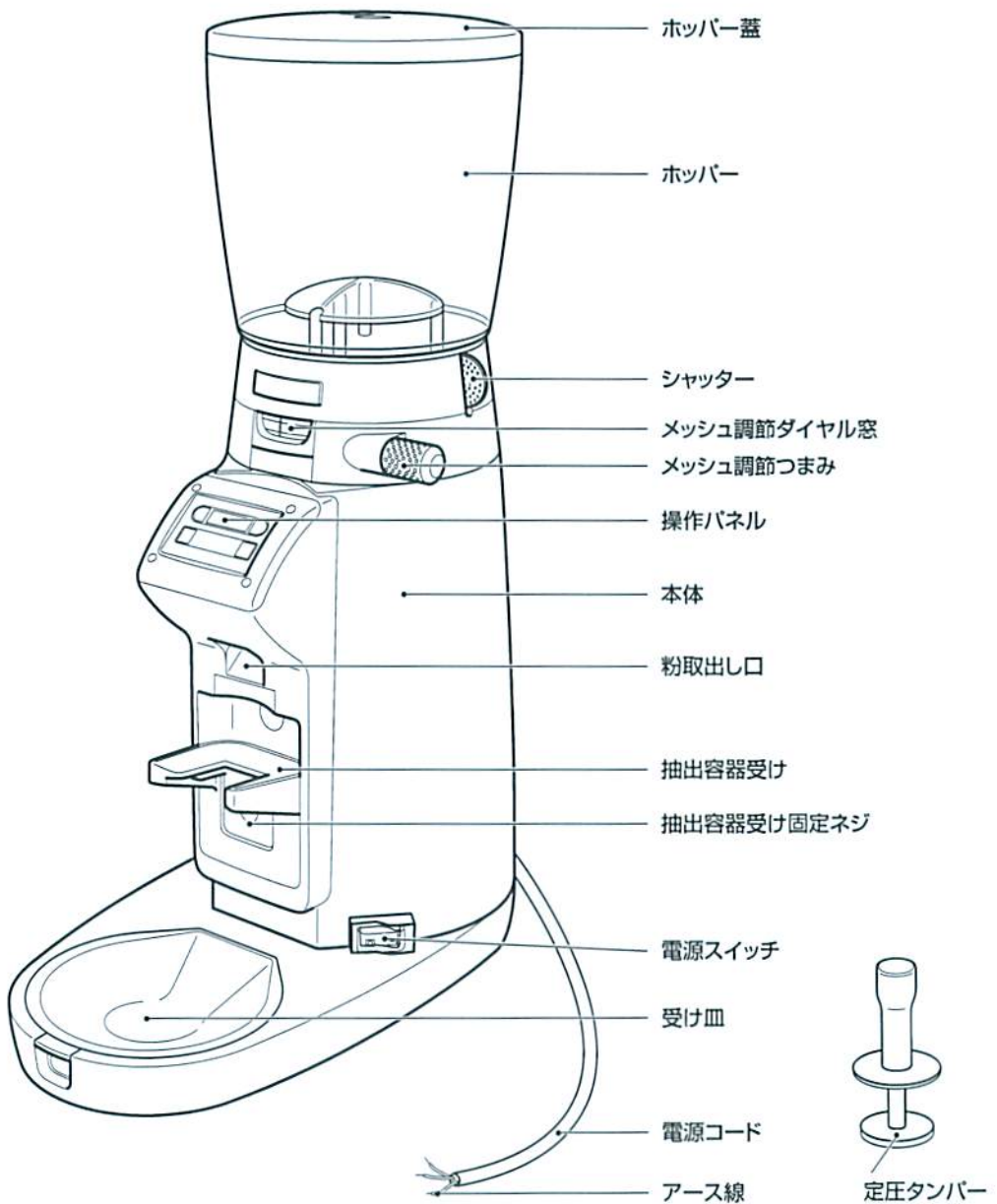
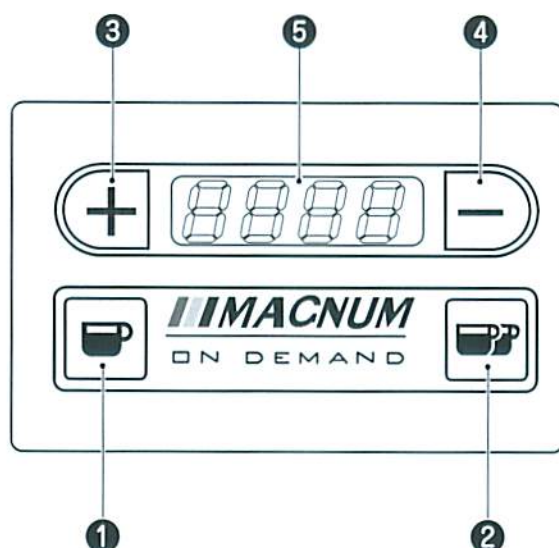
●漏電遮断器は月に１回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

●このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡される時には、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称とはたらき

●本機は、コーヒー豆をエスプレッソ挽きする専用機械です。

本　体

操作スイッチパネル部

❶ 1 杯用スイッチ

1 杯分のコーヒー豆を挽きます。
また、各設定モードに入る時にも使用します。(P16 ～ P18 を参照してください。)

❷ 2 杯用スイッチ

2 杯分のコーヒー豆を挽きます。
また、各設定モードに入る時にも使用します。(P16 ～ P18 を参照してください。)

❸ ＋ スイッチ

豆挽き時間設定モードに入る時に使います。豆挽き時間を設定する際、設定値を大きくします。

❹ − スイッチ

豆挽き時間設定モードに入る時に使います。豆挽き時間を設定する際、設定値を小さくします。

❺ ディスプレイ

待機中はコーヒー粉の累計取出杯数カウンターが表示されます。
コーヒー豆を挽いている間は、"run"と表示されます。また、豆挽き時間等の設定モードに入った時は、設定内容を表示します。

操作手順

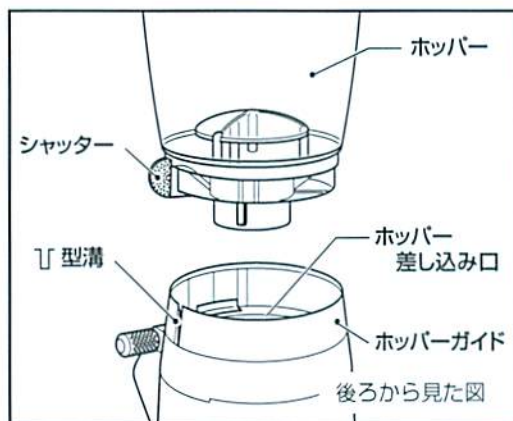
使用前の準備

●ご使用になる前に、「お手入れについて（21 ページ）」を参照してホッパーの清掃をしてください。

1 ホッパーと受け皿を本体にセットします。

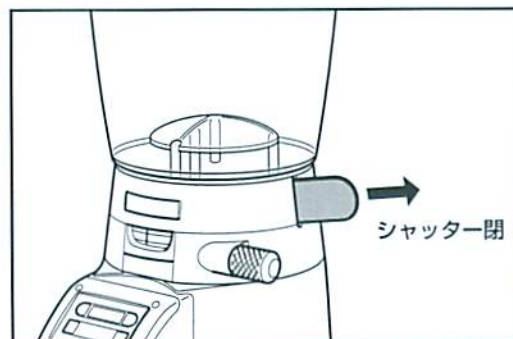
❶ ホッパーガイド右横にあるシャッター溝（凵型溝）に、ホッパーに付いているシャッターがはまるようにして、ホッパーを本体のホッパー差し込み口に差し込みます。

❷ 受け皿を本体にセットします。

後ろから見た図

メモ

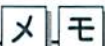
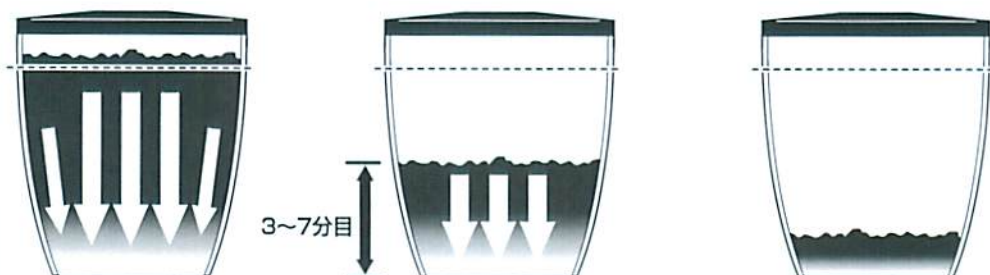
ホッパー下部にある細長い突起は、安全装置になっています。この突起が本体の安全装置差し込み口にきちんとセットされていないと、電源スイッチが入りません。
また、ホッパーを取り扱う際は、この安全装置を破損しないように注意してください。

2 シャッターを閉じます。

●ホッパーにコーヒー豆を入れる前に、ホッパーのシャッターが締まっていることを確認してください。シャッターは機械の右方向に引き出すと閉まります。

3 ホッパーにコーヒー豆を入れます。

❶ ホッパー蓋を取り、ホッパーにコーヒー豆を入れてください。最大 1.5kg の豆が入ります。

❷ ホッパー蓋をセットしてください。

メモ

ホッパーの豆量が少なくなると（約 3 分目以下）、ミルカッターにかかる重量が軽くなり、コーヒー粉の状態にバラつきが出る可能性があります。安定したメッシュを得るため、ホッパー内の豆を 3 ～ 7 分目にしておいてください。

※豆が少なすぎるとメッシュは粗くなる。→抽出時間が速くなる。

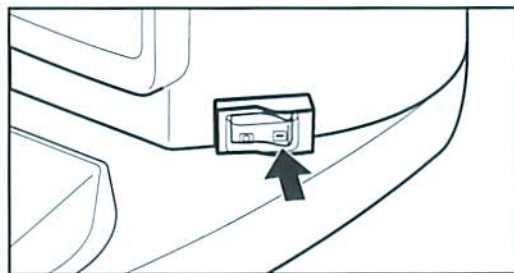
ホッパー内にコーヒー豆以外のものが入らないように注意してください。機械の故障、カッター破損の原因になります。
万一カッターに異物がかみ込んだ場合は、モーター保護装置がはたらき、モーターが自動的に停止し電源スイッチが OFF します。その場合は本機専用電源を OFF にして、ホッパー内のコーヒー豆を取り出して異物を除去してください。

4 電源スイッチを入れます。

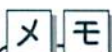
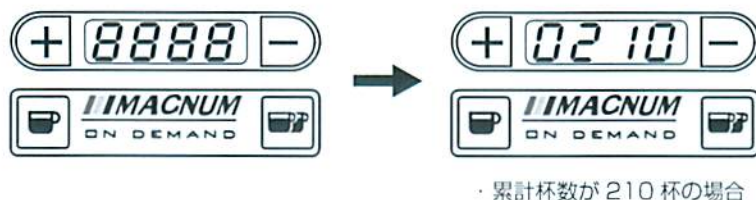
❶ 本機専用電源を入れてください。

❷ 本体右下にある電源スイッチを「ー」の方向に倒し、電源を ON にしてください。

メモ

ホッパーが正しくセットされ、本機専用電源が入っていないと、電源スイッチは ON になりません。

❸ ブルーのイルミネーションが点灯し、ディスプレイに 8888 の表示が 2 回点滅します。その後、これまでの累計杯数が表示されます。

・累計杯数が 210 杯の場合

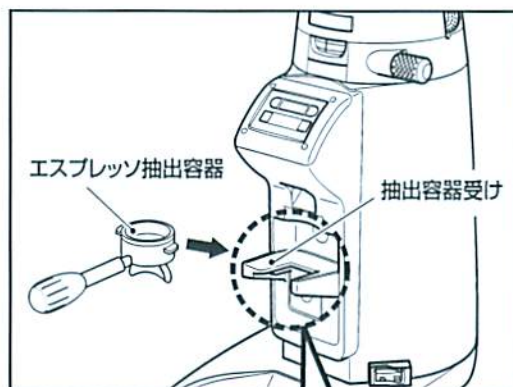
メモ

電源スイッチを OFF にしてから５秒以内に再び電源スイッチを ON にした場合、ディスプレイ表示は点滅しません。

5 ホッパーのシャッターを開きます。

● シャッターをつまみ、機械の左方向に押し込んで開けてください。
コーヒー豆がミルカッター部に落ちます。

コーヒー豆の挽きかた

1 エスプレッソ抽出容器を抽出容器受けにセットします。

● 本体の抽出容器受けに、エスプレッソ抽出容器（コーヒーマシンの付属品）を載せてください。

メモ

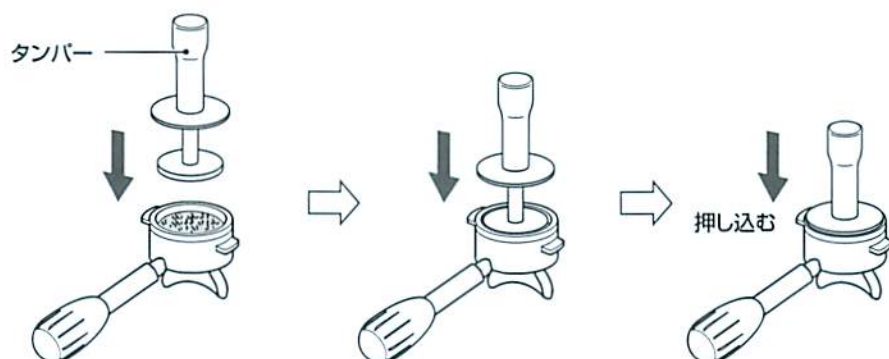
エスプレッソ抽出容器の高さが合わないときは、抽出容器受けの高さを調整してください。
マイナスドライバーで固定ネジをゆるめ、高さを調整した後、固定ネジを締めてください。
※固定ネジは強く締め付けないでください。

2 コーヒー豆を挽きます。

● 操作パネルの１杯用または２杯用のスイッチを押すと、設定された時間コーヒー豆を挽き、自動で停止します。

3 コーヒー粉が入ったエスプレッソ抽出容器を取り外します。

4 タンパーを使って平らにします。

● タンパーをエスプレッソ抽出容器の真上から当て、最後まで押し込みます。

● エスプレッソ抽出容器をエスプレッソコーヒーマシンにセットし抽出します。
エスプレッソ抽出容器のセットのしかたと、抽出のしかたについては、エスプレッソコーヒーマシンの取扱説明書をお読みください。

任意の量の豆を挽く場合

1 1杯用スイッチまたは2杯用スイッチを 2 秒以上押し続けます。

● ディスプレイには run と表示されます。

2 任意の量のコーヒー豆を挽きます。

● もう一方のスイッチを押すと、ミルモーターが回転してコーヒー豆を挽き始めます。
挽き始めたら、どちらかのボタンからは指を離してください。ディスプレイには 0000 と点滅表示され、豆を挽く時間が経過するごとに約何杯分の豆を挽いたかをカウントします。

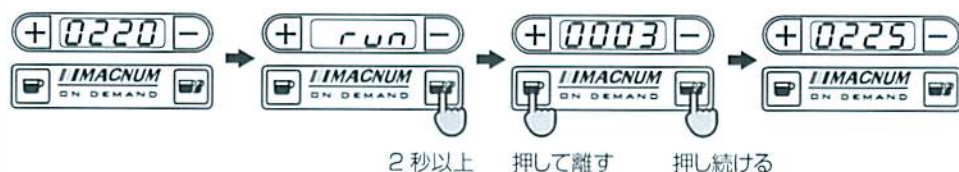
片方を押し続けながら、もう一方を押す。

3 必要な量の豆が挽けたら、スイッチから指を離します。

●ディスプレイには今回挽いた数を加えた杯数カウンターが表示されます。

メモ

任意の量のコーヒー豆を挽いた場合の、杯数カウンター表示について

最初に１杯用スイッチを押して豆を挽くと、豆を挽いている間にカウントされた杯数＋１、最初に２杯用スイッチを押して豆を挽くと、豆を挽いている間にカウントされた杯数＋２が、杯数カウンターに加えられます。
例えば、最初に２杯用スイッチを押して 0003 とカウントされるまで豆を挽いた場合、杯数カウンターには「5」が加えられます。

豆挽き時間について

●コーヒー豆を挽く時間は、以下の表のように設定されています。

1杯用、2杯用とも豆を挽く時間は「大まかな設定時間」（0.1 秒単位）と「微調整用の設定時間」（0.01 秒単位）を合計したものです。

杯数	設定内容	設定画面	設定値	単位（設定可能時間）	2つの設定値の合計時間（実際の豆挽き時間）
1杯用	微調整用の設定時間	t 1	00 ～ 50	0.01 秒（0.00 秒～ 0.50 秒）	t1+t3 1.00 秒～ 4.50 秒
	大まかな設定時間	t 3	10 ～ 40	0.1 秒（1.0 秒～ 4.0 秒）	
2杯用	微調整用の設定時間	t 2	00 ～ 99	0.01 秒（0.00 秒～ 0.99 秒）	t2+t4 2.00 秒～ 8.99 秒
	大まかな設定時間	t 4	20 ～ 80	0.1 秒（2.0 秒～ 8.0 秒）	

例

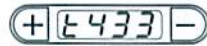
・1杯用の豆挽き時間

ディスプレイの表示

t 1→ 38（0.38 秒）　+ t 138 −

t 3→ 19（1.9 秒）　+ t 319 −

この場合

0.38 秒＋ 1.9 秒＝ 2.28 秒（合計時間）

・2杯用の豆挽き時間

ディスプレイの表示

t 2→ 60（0.60 秒）　+ t 260 −

t 4→ 33（3.3 秒）　+ t 433 −

この場合

0.60 秒＋ 3.3 秒＝ 3.90 秒（合計時間）

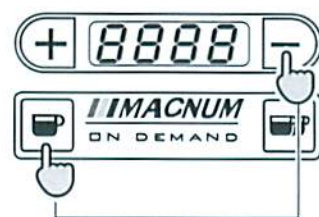
設定時間の変更方法

t 3（1 杯用の大まかな設定時間）および t 4（2 杯用の大まかな設定時間）の変更方法

❶ 本体の電源を OFF にします。

❷ 5 秒以上経過した後、再度電源スイッチを ON にします。

❸ 約 3 秒間、ディスプレイ表示が点滅します、その間に設定モードに入るスイッチを押します。

- t 3を設定する場合：1 杯用スイッチと⊖スイッチを同時に押します。
- t 4を設定する場合：2 杯用スイッチと⊕スイッチを同時に押します。

同時に押す（t3 設定）

同時に押す（t4 設定）

メモ

本体の電源スイッチを OFF にした後、5 秒以内にスイッチを ON にすると、ディスプレイ表示は点滅せず、設定モードに入ることはできません。

❹ ディスプレイに t 3（または t 4）の文字と、現在の設定値が表示されます。
⊕または⊖スイッチを押して設定値を変更します。

または

または

❺ 数値の変更後 5 秒間経過すると、自動的に設定値が確定し、設定モードを終了して通常の画面に戻ります。

累計杯数表示

t1（1杯用の微調整用の設定時間）およびt2（2杯用の微調整用の設定時間）の変更方法

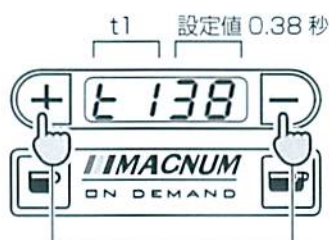
❶ ディスプレイに通常画面（杯数カウンター）が表示されていることを確認して、設定モードに入るスイッチを押します。

- t 1を設定する場合：⊞スイッチを押します。

- t 2を設定する場合：⊟スイッチを押します。

メモ

設定画面に入ってから3秒間何も入力しないと、自動的に設定モードが終了して通常の画面にもどります。

❷ ディスプレイにt 1（またはt 2）の文字と、現在の設定値が表示されます。
⊞または⊟スイッチを押して設定値を変更します。

❸ 数値の変更後5秒間経過すると、自動的に設定値が確定し、設定モードを終了して通常の画面に戻ります。

累計杯数表示

メモ

設定時間を微調整したい場合は、「微調整用の設定時間」の変更のみをおこなってください。

t1およびt2設定モードのロック方法

●誤ってｔ１、ｔ２の設定値を変更しないために、設定モードに入ることをロックできます。

❶ 本体の電源を OFF にします。

❷ 5 秒以上経過した後、再度電源スイッチを ON にします。

❸ 約 3 秒間、ディスプレイ表示が点滅します、その間に 1 杯用スイッチと 2 杯用スイッチを同時に押します。

❹ 現在のロック設定が表示されます。

1OFF：ロックされていません。

1 on：ロックされています。

❺ 設定を変更する場合は ⊕ または ⊖ スイッチを押します。
⊕スイッチを押すと、ロック状態になります。
⊖スイッチを押すと、ロックが解除されます。

メモ

本体の電源スイッチを OFF にした後、5 秒以内にスイッチを ON にすると、ディスプレイ表示は点滅せず、設定モードに入ることはできません。

メッシュ（挽きの粗さ）調節について

◆ コーヒーのメッシュは、実際にコーヒーマシンでコーヒーを抽出して、抽出の状態を確認し、お客様の好みのメッシュになるよう調節してください。

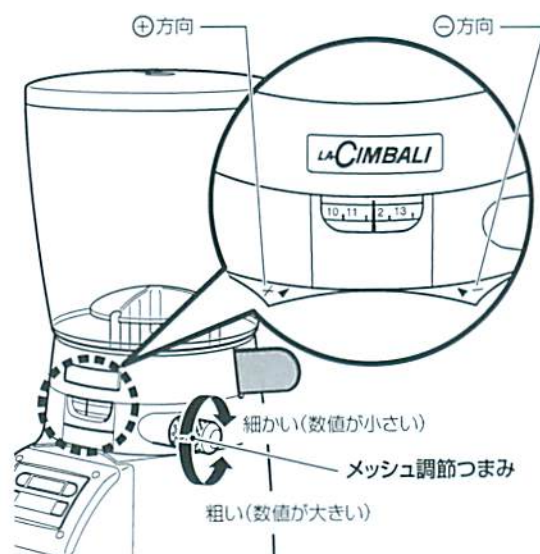
抽出時間が短く泡立ちが悪い場合　→　メッシュを細かくする
抽出時間が長すぎる場合　→　メッシュを粗くする

◆ 新品のコーヒーミルは、使い始めしばらくはミルカッターの刃が馴染んでいないため、摩耗が速く進みます。そのためメッシュが粗くなりますので定期的な調節が必要となります。
本機も使い始めから 50 kg～ 80 kg程度（コーヒー豆の種類によって異なる）のコーヒー豆を挽くまではミルカッターの摩耗が速く、導入時に比べてメッシュが粗くなっていきます。
ミルカッターの刃が馴染んできますと、ミルカッターの摩耗速度が遅くなり、メッシュが安定してきます。ただし、美味しいコーヒーを提供していただくために、定期的にコーヒーの抽出状態を確認し、メッシュの微調整をおこなってください。

◆ ホッパー内のコーヒー豆量が少なくなるとメッシュが粗くなりますので、10 ページの「ホッパー内の豆量について」をご参照いただき、ホッパー内の豆量を常に3～7分目の範囲内に保ってご使用ください。

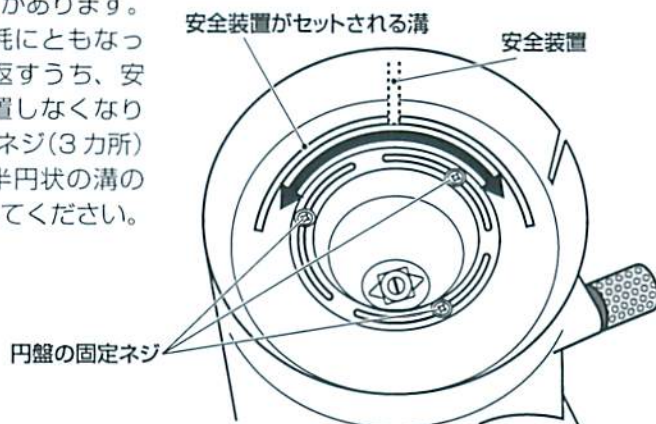
❶ **ホッパーのシャッターを閉じてください。**
メッシュ調節をするときは、コーヒー豆を挽かずにおこなってください。

❷ **メッシュ調節つまみを回してください。**
メッシュ調節ダイヤルを回す時は、ゆっくり1目盛りずつ回し、その都度実際に豆を挽いて粗さを確認してください。反時計方向（⊕方向）に回すとメッシュは粗くなり、時計方向（⊖方向）に回すと細かく挽けます。

⚠ カッターが擦れ合うまでメッシュを細かくしないでください。ミルカッターの目詰まりや、モーターの故障の原因になります。

お願い

メッシュ調節つまみを回しすぎないでください。

メッシュ調節つまみを回すと、ホッパー下の本体に取り付けられている円盤が左右に回転します。このとき、円盤外周の溝にはホッパーの安全装置がセットされています。円盤を過度に回転させると、半円状の溝の端に安全装置が当たり、安全装置が破損するおそれがあります。

またミルカッターの摩耗にともなってメッシュ調整をくり返すうち、安全装置が溝の中心に位置しなくなります。その場合は右図のネジ(3カ所)をゆるめ、安全装置が半円状の溝の中央にくるように調整してください。

お手入れについて

いつも安全で清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、作業終了後は各部を清掃してください。

❶ 本体の抽出容器受けなどに付着しているコーヒー粉は、柔らかい刷毛やブラシで払い落とし、柔らかい布で拭いてください。

❷ 受け皿に溜まった粉は捨てて、柔らかい布できれいに拭いてください。

❸ 本体周辺に飛び散った粉は、掃除機で吸い取ると清潔になります。

❹ ホッパー内および本体外装部に付着したコーヒー豆の油汚れは、食器用中性洗剤を含ませた布かスポンジを硬く絞って拭き、きれいな水で濡らした布を硬く絞って十分に洗剤成分を拭き取ってください。その後完全に乾燥させてください。

お願い

1. **カッターが擦れ合うまでメッシュ調節つまみを時計方向に回してメッシュを細かくしないでください。**
   ミルカッターの目詰まりや、モーターの故障の原因になります。
2. **本体は絶対に水洗いしないでください。**
   故障や漏電の原因になります。
3. **清掃をするとき、クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使わないでください。**
   キズがついたり、破損の原因になります。

故障の診断と対処法

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。
症状が改善されないときや「対処法」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを切って機械を止め、本機専用電源も『OFF（切）』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

※ご連絡の場合は、本機の型式名・機番・お買上げ日・故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

状態	診断	対処法
電源スイッチが入らない。	ホッパーが正しくセットされていますか？	本ホッパー下部についている安全装置が正しく収まっているか確認してください。
	本機専用電源が『OFF（切）』になっていませんか？	『OFF（切）』になっているときは、『ON（入）』にしてください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	漏電遮断器が切れていませんか？	『OFF（切）』になっている場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	モーターの保護装置が動作している可能性があります。	本機専用電源を『OFF（切）』にして、時間を置いてから再度電源を入れてください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
電源スイッチを入れてもコーヒー豆を挽かない。	ホッパーのシャッターを閉じていませんか？	シャッターを開けてください。
	粉取出し口内にコーヒー粉が詰まっていませんか？	詰まっている粉を取り出してください。
	ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。	メッシュ調節つまみを回し、メッシュを粗くしてからモーターを回転させてください。症状が改善されないときは、お買上げ店へ連絡してください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
本体から異常音が発生する。	丈夫な所に設置していますか？	不安定な場合には、お買上げ店へ連絡してください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	カッター部に異物が噛み込まれていませんか？	電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF（切）』にして、カッター部の異物を取り除いてください。
	ホッパー蓋、受け皿が正しくセットされていますか？	ホッパー蓋、受け皿を正しくセットしてください。
	機械の故障の可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。

状　態	診　断	手　当
メッシュが粗すぎる。	ミルカッターが、目詰まりしている可能性があります。	19ページの「メッシュ調節について」を参照して、メッシュの調整をおこなってください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
	ミルカッターが摩耗している可能性があります。	
メッシュにバラツキがある。	ホッパー内のコーヒー豆の量が少なすぎる、または多すぎる可能性があります。	10ページを参照して、豆の量を調整してください。 症状が改善されない場合は、お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF（切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。レバーが「OFF（切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON（入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードが異常に熱くなる。	電源コードを束ねていませんか？	電源コードを束ねている場合は、解いてください。
	電源コードをものなどで挟み込んでいませんか？	電源コードを挟み込んでいるものを取り除いてください。

据付けについて

❶ 水平で丈夫な調理台に、据え付けてください。

調理台が傾斜していたり不安定ですと、転倒する恐れがあり危険です。

❷ 電源を接続してください。

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続してください。

❸ 本機の電源コードを電源設備に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください。

（電源コードの長さ：1.6 m　3 心）

❹ 水のかからないところに据え付けてください。

本体と電源コードに水がかかりますと、漏電、感電の原因になります。

❺ アースは必ず取ってください。

アースは、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

ガス管、水道管、電話のアース線、避雷針などには危険ですから絶対にアース線を接続しないでください。

アース線は、電源コード内にある緑／黄色の線です。

仕　様

品　名	マグナム オンデマンドミル【ラ・チンバリー】
型　式	MOD－1N
外形寸法	幅 215・奥行 405・高さ 625 ㎜
電　源	単相 200V　50／60Hz
電　流	2.5A（15 秒 ON／60 秒 OFF）
消費電力	450W
安全装置	モーター保護装置付、ホッパー安全装置付
ホッパー容量	1.5kg（コーヒー豆量）
豆挽時間設定	1 杯用：1.00～4.50 秒 2 杯用：2.00～8.99 秒
電源コード	長さ：1.6 m　3 心
質　量	16kg

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

主要部品	・ホッパー（ホッパー蓋付）……………… 1 個 ・受け皿 ……………………………… 1 個
付属品	・定圧タンパー ……………………… 1 個